

グループ忘年会

去る12月9日(土)、ANAクラウンプラザホテルにて『にのみやグループ忘年会』が開催されました。

二宮理事長を始め、正仁会・恵正会や関係各位を合わせて274名の方が参加し盛大に行われました。

開催に先立ち二宮理事長から挨拶があり、今年で二宮内科が開業して20周年の年であることや、平成30年度診療報酬と介護報酬の同時改定に伴い、環境が厳しくなる中でますます『にのみやグループ』として発展する必要があることなどをお話されました。



昨年の忘年会同様に事前に各テーブルの椅子の裏にプレゼントを仕掛けておくサプライズを行いました。司会者から「椅子の裏をご確認下さい」と伝えると、皆様が一斉に立ち上がり裏側をのぞき込み「あった、やった」など声があがって会場全体が盛り上がりました。また、受付の際に抽選券を引いていただき、忘年会の途中と最後にはお楽しみ抽選会を開催し、当選された方には素晴らしい豪華賞品がありました。最後の抽選の商品は「カープ開幕戦チケット」でした。さすが広島県人！番号を伝えると抽選券を両手に持たれ真剣に確認されていました。残念ながら私は当たりませんでした…。

抽選会も盛り上がりましたが、忘年会の中で一番盛り上がったのは「新人紹介」でした。毎年その年入職した職員によるパフォーマンスがあります。今年も例年踏襲でダンスパフォーマンスです。約3カ月前から良いステージにしようという意気込みをもって練習を重ね、当日緊張の中にも自信に満ち溢れた表情をしてステージ上では思いっきりダンスを披露していました。私は業務を終えての帰り際に、夜遅くまで練習をしていた姿を見ていたため、とても感動しました。

次に勤続10年15名、20年2名の方などが表彰されました。学会発表表彰もあり、デイケアセンターそよかぜの山下千尋さんが日本通所ケア研究大会研究テーマ「介護職員として働く管理栄養士による働きかけ～調理動画配信がもたらしたもの～」で最優秀賞を受賞され、『にのみやグループ』としても3年連続の最優秀賞受賞の報告がされました。



忘年会のエンドロールにはグループの20年間の軌跡が上映されました。この度の司会の任をとった恵正会の戸松洋介さんと正仁会の大藤毅虎さんによって作成された素晴らしいものでした。

中締め挨拶は正仁会矢矧事務長によるものでした。一本締めで平成29年を締めくくる最高の忘年会となりました。

平成30年は、私自身研鑽を積み、司会の大役をもって今回以上に楽しめる忘年会になるように努力をしたいと思います。

特別養護老人ホーム なごみの郷 4階 脇田 良樹

可部のまち応援フェア

12月3日(日)に広島文教女子大学で開催された「第2回かべのまち健康応援フェア」の「食べて健康ブース」で、2016年の第1回と同様にチヂミの販売を行いました。

今回はネーミングを「チーズとろけ～るチヂミ」として、焼いたチヂミにとろけるチーズをかけ、見た目にも食欲をそそるものにしました。また、タレもリニューアルして、コチュジャンの量を増やし、すりおろしにんにくを新たに追加して、より濃い味にすることでチーズとの相性をさらにアップさせました。

当日は職員だけでなく職員の子供も参加して、12月の寒い中、元気よく販売を行いました。

「チヂミが販売されることを知って絶対買うと決めてきました」、「前回も早く完売していたよね。」など、リピーターのお客さんもいらっしゃいました。販売を開始した10時30分は客足が少ないため、チーズのとろけた焼き



立ての温かい状態で提供したい思いで、作る量を控え目にしていました。11時30分あたりから少しずつ客足が増え、あっという間に行列。お客様の目の前で調理を行うので「1人前はどれぐらいの量？」や「辛い？」といったチヂミの話や、体育館でおこなわれていた卓球大会の話職員としながら退屈せずに楽しく待っていただきました。



あわただしい時間はあっという間に過ぎ、12時半前には完売。売り切った後は、「てんやわんやだったね!」と話しながらも、職員の表情は満足感に満ちていました。

今後も進化し続けるチヂミを作り、いつか読者の皆様に食べていただける日が来ることを待ち望んでいます。

なごみの郷 管理栄養士
柴田 真衣

